

5年生の夏期講習

【実施要項】

全29日間（詳しい日程は、新百合ヶ丘校、あざみ野校の夏期講習日程をご覧ください。）

（会費） アクセス生会費 133,100円(税込)

一般生会費 136,620円(税込)

☆兄弟ともにアクセスの通室生である場合に、下のお子様に対して兄弟割引が適用されます。

☆夏期受講の一般生で、ご兄弟がアクセス生もしくは卒業生の場合はアクセス生会費が適用されます。（通室生割引適用）

【教科のねらい】

国語

5年生後期からいよいよ受験勉強の態勢が本格化します。5年の夏期講習は前期までの基本的な文章のとらえ方を再確認するという位置づけで、通常授業前期20回のカリキュラムを圧縮した形で構成されています。

これまで文章の分野（物語・随筆・説明論説文）に必ずしも束縛されずに、読解のための手がかり（「話題」「情景と心情」「人物像」など）を把握することを目標にしてきました。夏以降は、より実践的な形式に近づけ、文章の分野別に総合的な学習をすすめていきます。その間の橋渡しとしての基本の確認ということになるわけです。知識分野に関しても前期で勉強した問題をもう一度やり直し、自分の弱点を把握・克服してもらいます。

算数

2月から7月までの学習内容を再度確認しながら弱点補強を行います。『数の性質』は分数計算を含めた計算全般と数列の復習に、『割合』については、基本を徹底しながら『比』へとつなげていき、他の分野へ利用できるようにしていきます。『平面図形』は基本を再復習し、比を利用した図形（9月）へ橋渡ししていきます。また、夏季の最大のテーマである『速さ』では、『速さとは何か』を知り、基本から応用まで一通りの範囲を短期間に集中して学習することで理解と定着を図ります。さらに、算数授業の一環として、短期集中の「計算演習特訓」を行います。

社会

産業別地理を通して、日本の現状とその問題点を考えることが大きなねらい。日本の農業・水産業について、さかんな地域・さかんな理由を理解するとともに、それぞれの問題点を通して、これからの農業・水産業が進むべき道を考えさせます。また、日本の工業の特色と工業のさかんな地域を理解するとともに、そのひずみとして現れた公害問題について考えさせます。この夏季授業で、農業、水産業、工業の発達が日本の交通、通信、貿易にどのような影響を与えているかを考えることにより、単なる暗記ではなく、さまざまな出来事の結びつきや関連性を広い視野に立って考える姿勢を育てます。そして、世界の中の日本の現状を理解することにより、9月から始まる歴史の学習に結びつけます。

理科

前期に学習した内容を再度取り上げていきますが、その中でもとくに子ども達が苦手とする力学分野を中心に、数量的な扱いを演習することによって、しっかりと理解につなげます。正比例・反比例の関係を確実に読み取り、問題を処理できるようにすることが目標です。どんな問題でも、つねに基本にもどることで対処できるものであることを経験してもらいます。植物と動物については、ほぼ完成に近づける程度までの知識の確認を行います。

【授業内容】

回数	国語	算数	
	読解学習	テーマ	各回の内容
第1回	説明的文章の読解;話題をとらえる1	数の性質1	計算の工夫・単位換算
第2回	説明的文章の読解;話題をとらえる2	数の性質2	約数と倍数
第3回	説明的文章の読解;文章構成と具体例	数の性質3	植木算・等差数列
第4回	説明的文章の読解;乱文・段落整序	割合1	割合の基本と比
第5回	説明的文章の読解;対照的内容	割合2	濃度・売買算
第6回	説明的文章の読解;要旨	割合3	相当算・倍数算
第7回	物語の読解;場面・状況	速さ1	速さの基本・単位換算
第8回	物語の読解;言動・出来事	速さ2	速さの三公式
第9回	物語の読解;情景と心情	速さ3	速さと進行グラフ
第10回	物語の読解;人物像	速さ4	速さと比
第11回	物語の読解;暗示・象徴	速さ5	旅人算1・速さの和と差
第12回	物語の読解;主題	速さ6	旅人算2・比の利用
第13回	随筆の読解;事実と意見・感想	速さ7	旅人算3・周回路
第14回	随筆の読解;表現上の工夫	速さ8	時計算
第15回	韻文の読解;表現技法とその効果	速さ9	通過算1・通過
第16回	韻文の読解;作者の視点	速さ10	通過算2・すれ違いと追いこし
第17回		速さ11	流水算
第18回		速さ12	速さのまとめ
第19回		平面図形1	角度と面積
第20回		平面図形2	円とおうぎ形
	社会	理科	
回数	各回の内容(テーマ)	各回の内容(テーマ)	
第1回	農業Ⅰ(稲作、畑作)	ばねとグラフ	
第2回	農業Ⅱ(畜産業、農業の問題点)	てんびんのしくみ	
第3回	水産業Ⅰ(日本の水産業の特色)	ばねとてこの組み合わせ、浮力	
第4回	水産業Ⅱ(これからの水産業)	滑車と輪軸・力学総合	
第5回	工業Ⅰ(工業地帯・地域)	植物総合(知識の確認と演習)	
第6回	工業Ⅱ(主な工業都市)	振り子の動き、物の運動	
第7回	工業Ⅲ(伝統工業)	水溶液の分類、性質	
第8回	工業Ⅳ(公害、環境問題)	ものの溶け方(溶解度)	
第9回	交通(交通の発達とはたらき)	中和反応、金属と水溶液	
第10回	通信・商業(通信手段・商業のしくみ)	動物総合(知識の確認と演習)	
第11回	貿易Ⅰ(日本の貿易の特色)	気体と性質と発生、環境破壊	
第12回	貿易Ⅱ(日本の貿易相手国)	物の燃焼	

6年生の夏期講習

【実施要項】

全33日間（詳しい日程は、新百合ヶ丘校、あざみ野校の夏期講習日程をご覧ください。）

（会費） アクセス生会費 185,680円(税込)

一般生会費 191,840円(税込)

☆兄弟ともにアクセスの通室生である場合に、下のお子様に対して兄弟割引が適用されます。

☆一般生で、兄弟が在籍または卒業生の場合にはアクセス生会費を適用し（通室生割引適用）。

国語

今まで培った基本的な読解方法の確認と定着を図り、ふだん触れられない広い教養を学ぶことで、中学入試で必要とされる思考力を養い、かつ論理性の構築を図るため、全28回の授業を大きく三段階に分けて行います。第1～8回は『論理的な思考力のために』。基本的な読解方法を通して論旨を明確にし、確かな発想に立脚した記述力の獲得をめざします。次に、第9～16回は『テーマアプローチ』。入試頻出テーマに着目し、中学入試国語の奥深さを意識したより広い視点を与えます。第17～28回では『実戦演習』。秋以降の過去問題学習へ向けて、設問間のつながりやヒントなど「作問者の意図」をとらえる実践的な解法に取り組みます。

算数

中学入試の重要分野として、①割合、②速さ、③平面図形、④立体図形の4分野を中心に基本問題の確認から応用問題までの習熟を図ります。中学入試では、この4分野の出題数も多く、得点源であり合否を左右しますが、この夏の間には4分野の実力をつけ、後期からの受験対策につなげます。1日80分2コマの授業を1回とし、全14回の演習中心授業です。テキストの各回1ページ目は、計算・一行問題で、ウォーミングアップを行うとともに、4分野以外の出題もして、基本問題の復習を行います。2ページ以降は、各回テーマに沿った基本から応用問題までを用意し、クラスに応じた問題を選択して演習・解説を行います。また、副教材『算数ファイナル』（出版社：JESDA）を中学入試頻出問題の全般的な基礎固めのために利用します。

社会

社会の入試問題の柱である地理・歴史・公民を、講義を通して基本事項の理解を深めるとともに、問題演習を通して弱点補強と応用力を育成していきます。地理分野では、グラフ・統計を通して、日本の各産業の特色と問題点の理解、歴史分野では、史料や図の読みとり・年表の確認を通して、テーマ毎の歴史の大きな流れを理解、公民分野では、日本国憲法の三原則・三権分立のしくみ・国際連合についての基本事項を確認し、世界の中で日本の果たすべき役割が主なねらいです。夏期講習で、地理・歴史混合などの複合的な理解を図る学習へと結びつけていきます。

理科

9月から始まる実践的な演習を前に、全単元の総チェックを行っていきます。中学受験で求められる、物理・化学・生物・地学の基本知識の整理をし、問題演習を通じてそれらの知識の定着を図りながら、同時にその基本知識をどう応用につなげていくのかを体得していきます。また、各生徒の弱点を発見し、知識を補強するための確認テストを行っていきます。この夏季授業は、入試本番に向けて力を伸ばしていくための新たなスタートラインであるともいえます。

国語		算数	
回数	読解学習	テーマ	各回の内容
第1回	論理的思考のために(1)対立の概念	割合Ⅰ	割合と比
第2回	論理的思考のために(2)構造の把握	割合Ⅰ	割合と比
第3回	論理的思考のために(3)論理の具体化	割合Ⅱ	相当算と倍数算
第4回	論理的思考のために(4)論理の抽象化	割合Ⅱ	相当算と倍数算
第5回	論理的思考のために(5)論理の展開	割合Ⅲ	濃度に関する問題と売買算
第6回	論理的思考のために(6)表現と意図	割合Ⅲ	濃度に関する問題と売買算
第7回	論理的思考のために(7)着眼点	速さⅠ	速さと比
第8回	論理的思考のために(8)発想の転換	速さⅠ	速さと比
第9回	テーマアプローチ(1)生命と人生	速さⅡ	旅人算と通過算
第10回	テーマアプローチ(2)科学と自然	速さⅡ	旅人算と通過算
第11回	テーマアプローチ(3)異文化と日本	速さⅢ	流水算と時計算
第12回	テーマアプローチ(4)言語と思考	速さⅢ	流水算と時計算
第13回	テーマアプローチ(5)家族との対立と成長	平面図形Ⅰ	平面図形の性質
第14回	テーマアプローチ(6)友人との対立と成長	平面図形Ⅰ	平面図形の性質
第15回	テーマアプローチ(7)死と世界観の変容	平面図形Ⅱ	平面図形の求積
第16回	テーマアプローチ(8)自己の認識と他者理解	平面図形Ⅱ	平面図形の求積
第17回	実戦演習(1)長文記述型①	平面図形Ⅲ	平面図形と比
第18回	実戦演習(2)長文記述型②	平面図形Ⅲ	平面図形と比
第19回	実戦演習(3)長文記述型③	立体図形Ⅰ	立体図形の求積
第20回	実戦演習(4)長文記述型④	立体図形Ⅰ	立体図形の求積
第21回	実戦演習(5)選択肢に克つ①	立体図形Ⅱ	立体図形と比
第22回	実戦演習(6)選択肢に克つ②	立体図形Ⅱ	立体図形と比
第23回	実戦演習(7)選択肢に克つ③	平面図形Ⅲ	立体図形の切断
第24回	実戦演習(8)選択肢に克つ④	平面図形Ⅲ	立体図形の切断
第25回	実戦演習(9)総合バランス型①	立体図形Ⅳ	水位変化と水そうグラフ
第26回	実戦演習(10)総合バランス型②	立体図形Ⅳ	水位変化と水そうグラフ
第27回	実戦演習(11)総合バランス型③	立体図形Ⅴ	反射と影
第28回	実戦演習(12)総合バランス型④	立体図形Ⅴ	反射と影
社会		理科	
回数	各回の内容(テーマ)	各回の内容(テーマ)	
第1回	日本の国土・地形・気候(日本の主な川・平野・山脈と気候の特色)	植物Ⅰ(種子、植物の分類)	
第2回	日本の農業の特色(稲作・畑作・畜産のさかんな地域)	植物Ⅱ(蒸散作用、光合成)	
第3回	日本の農業の問題点・水産業Ⅰ(食料自給率、水産業の特色と問題)	植物Ⅲ(花のつくりと働き、森林の植物)	
第4回	日本の農業の問題点・水産業Ⅱ(食料自給率、水産業の特色と問題)	こん虫、植物の分類	
第5回	日本の工業の特色Ⅰ(工業の種類と特色、伝統工業)	水中の生物、食物連鎖	
第6回	日本の工業の特色Ⅱ(工業の種類と特色、伝統工業)	人体Ⅰ(消化)	
第7回	工業のさかんな地域・公害Ⅰ(太平洋ベルト、環境破壊)	人体Ⅱ(循環)	
第8回	工業のさかんな地域・公害Ⅱ(太平洋ベルト、環境破壊)	人体Ⅲ(呼吸、人の誕生)	
第9回	人口問題・交通Ⅰ(日本の人口問題、交通機関の働き)	地層(川の三作用、地層のつき方、岩石の分類)	
第10回	人口問題・交通Ⅱ(日本の人口問題、交通機関の働き)	天体Ⅰ(太陽の日周運動、地温と気温)	
第11回	資源と貿易Ⅰ(水・森林・鉱物・エネルギー資源、貿易相手国)	天体Ⅱ(太陽の年周運動、南中高度、時刻)	
第12回	資源と貿易Ⅱ(水・森林・鉱物・エネルギー資源、貿易相手国)	天体Ⅲ(気候)	
第13回	政治史Ⅰ(各時代の政治・法制史のまとめ)	天体Ⅳ(月の満ち欠け、日食、月食)	
第14回	政治史Ⅱ(各時代の政治・法制史のまとめ)	天体Ⅴ(星座)	
第15回	社会・経済史Ⅰ(各時代の土地制度・税制度のまとめ)	音と光	
第16回	社会・経済史Ⅱ(各時代の土地制度・税制度のまとめ)	熱(熱の伝わり方、三態変化)	
第17回	外交史Ⅰ(各時代の外交関係のまとめ)	力Ⅰ(てこばね)	
第18回	外交史Ⅱ(各時代の外交関係のまとめ)	力Ⅱ(滑車と輪軸)	
第19回	文化史Ⅰ(各時代の文化のまとめ)	力Ⅲ(力学総合)	
第20回	文化史Ⅱ(各時代の文化のまとめ)	力Ⅳ(ふり子の動き、転がる、落ちるおもりの働き)	
第21回	人物史Ⅰ(人物を中心にした歴史のまとめ)	物質とエネルギーⅠ(水溶液の性質と分類)	
第22回	人物史Ⅱ(人物を中心にした歴史のまとめ)	物質とエネルギーⅡ(溶解度)	
第23回	日本国憲法の三原則Ⅰ(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)	物質とエネルギーⅢ(中和)	
第24回	日本国憲法の三原則Ⅱ(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)	物質とエネルギーⅣ(気体の性質と発生)	
第25回	三権のしくみ・予算・地方自治Ⅰ(三権分立、予算、地方自治のしくみ)	物質とエネルギーⅤ(燃焼)	
第26回	三権のしくみ・予算・地方自治Ⅱ(三権分立、予算、地方自治のしくみ)	電流Ⅰ(電流の強さとまめ電球の明るさ)	
第27回	国際連合・国際関係Ⅰ(国際連盟・国際連合のしくみ、国際貢献)	電流Ⅱ(電磁石)	
第28回	国際連合・国際関係Ⅱ(国際連盟・国際連合のしくみ、国際貢献)	作図・記述・実験器具の使い方	

